

イノベーション・ジャパン2017

～ 大学見本市&ビジネスマッチング ～

主催：JST NEDO

甲南大学出展報告

2017.8.31-9.1

東京ビッグサイト 東1・4ホール

2017.10.3

フロンティア研究推進機構

1. 概 要

- 2004年より開始され14年目になる展示会であり、JSTが出展者決定を行う、歴史ある展示会。
- 学内の応募申込みに基づき、JSTへの申請を行って採択された、フロンティアサイエンス学部、先端生命工学研究soの研究シーズを発表し、産官学連携を図った。
- 今年は以下の2件を申請して、双方採択

L-51 フロンティアサイエンス学部 生命化学科 甲元 一也 准教授

「難水溶性診断薬を室温で、高濃度、長期間保存可能な可溶化剤」

L-52 先端生命工学研究so 杉本 直己 所長・教授

遠藤 玉樹 准教授

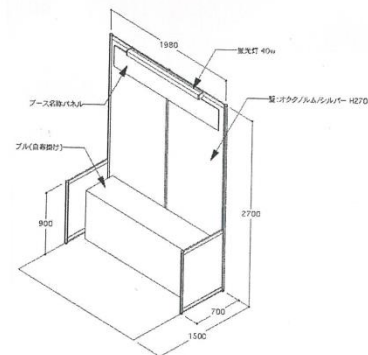
建石 寿枝 講師

高橋 俊太郎 講師

「分子レベルの“混み合い”を活用して核酸を機能化する新技術」

- その他、本学の研究シーズ紹介資料、学部案内、フロンティア研究推進機構の紹介パンフレットを展示

2. 展示ブース(小間番号L-51,52)



ブースサイズ：
幅1.98m x 奥行1.5m x 高さ2.7m

甲南大学展示ブース L-51,52

シース展示 x 2 ブース

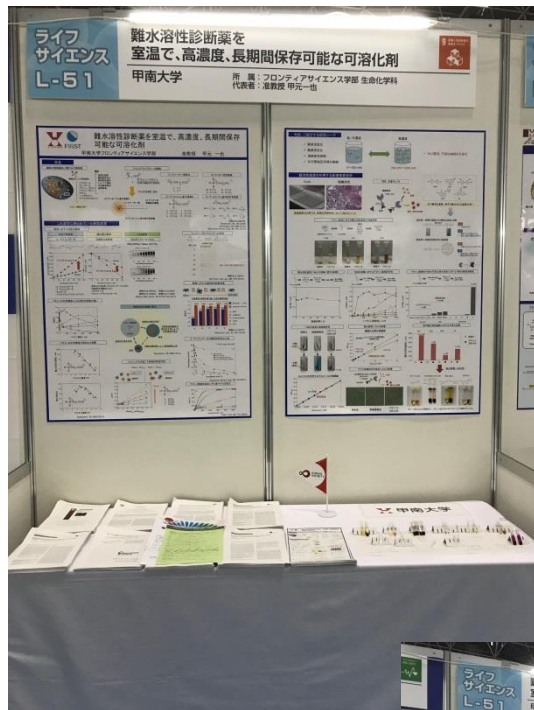
甲南大学ブース

東1ホール

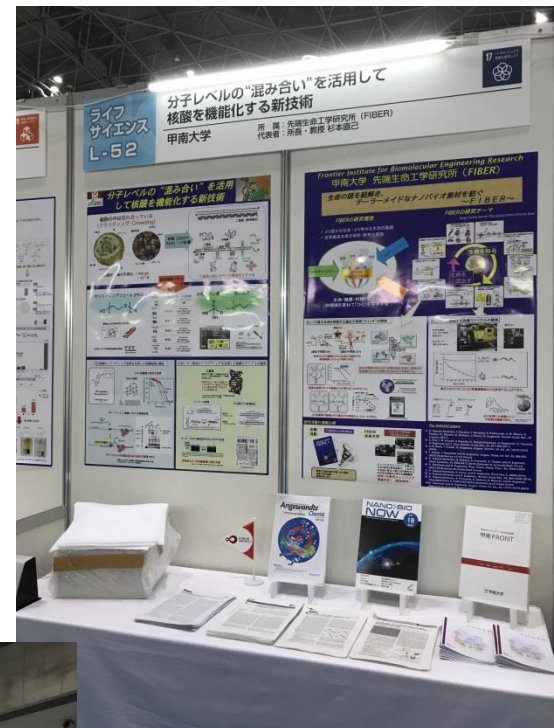
JSTゾーン

イノベーション・ジャパン 2017

3. 展示状況



甲元准教授展示ブース

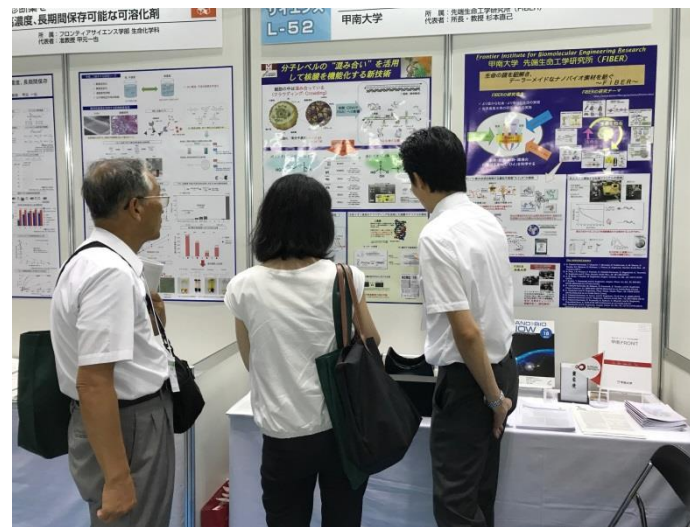
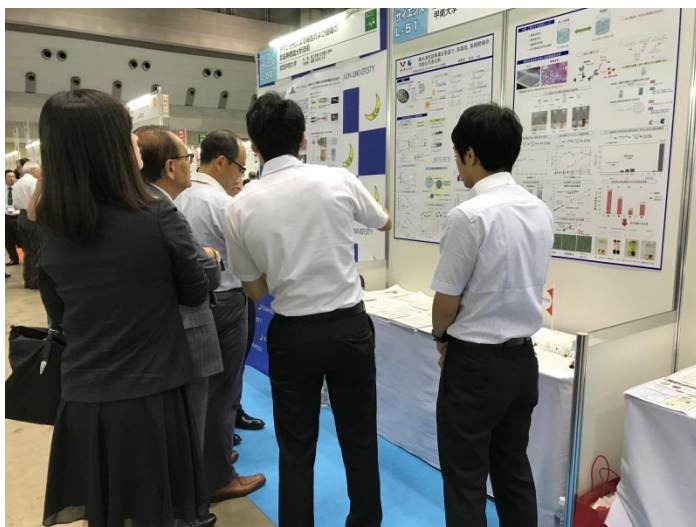
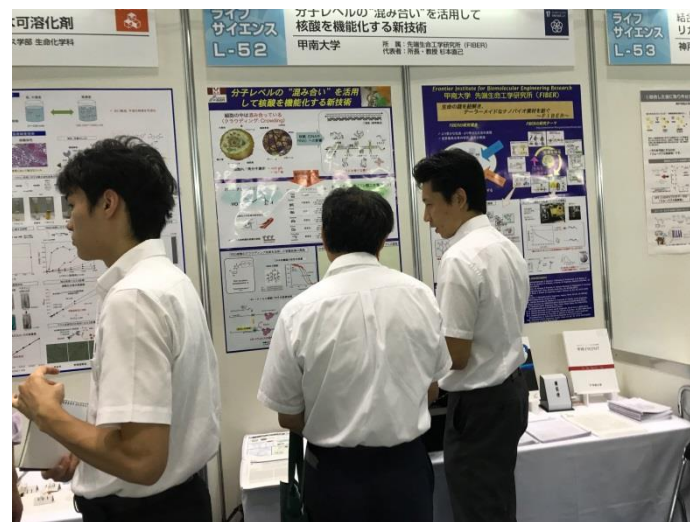
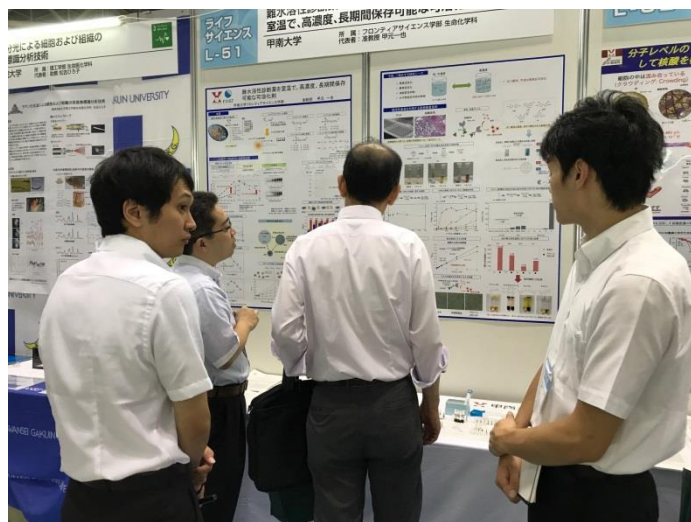


杉本所長展示ブース



本学ブース全体

4.展示状況



5.交流概要

■イノベーション・ジャパンは例年多数の発表となり、入場者数も多い。今年は初めての試みとして組織展示も行われ活況であった。JSTブース数はシーズ展示400、組織展示46となりました。あいにくの天候にもかかわらず、熱心な企業が多数参加され、大学同士の交流も多くみられました。
JST発表の入場者数、当ブース来訪(名刺受領含む)数は以下の通り。

	8月31日	9月1日	計
JST発表入場者数	10,745	14,985	25,703
ブース数	400	400	
L-51 (推定)	35	45	80
L-52 (推定)	25	25	50
小計	60	70	130

■甲南大学のブースでは、テーマを絞った内容でありましたが、先生方にフルにアテンドいただき、盛況でした。展示後の問い合わせも到来し、フォローいただいております。今後の展開が楽しみです。甲南大学の理系シーズ全般に関する照会もあり、フォロー中です。来年度には今年に対応出来なかった組織展示についても事前に検討して可能性を探りたい。